

## 8月2日（火） 非常当庁訓練見学会の報告

佐倉市危機管理課主催の非常当庁訓練の見学会が下志津小学校で行われました。3区からは7名が参加し、1区から4区までの防災関係者全部で20名ほどが参加しました。最初に下小の先生から佐倉市職員の紹介があり、直ぐに防災備蓄倉庫の機材の点検が始まりました。

クラッカー、アルファ米、真空パック毛布、トイレトーパー、給水袋、バケツ、……（31種類）について一つひとつ点検を行いました。



アルファ米

クラッカー

リヤカー

フロアマップ・筆談用具・筆記用具・感染症対策用品等



救急箱

安全キャンドル



真空パック毛布

資機材の点検が終わり、続いて発電機の動作確認を実施しました。

実際に電気が流れているかどうかの確認に投光器を使用しました。

但し、この発電機は直流電源から交流電源へ返還するためのインバーターが付いていないため、携帯電話の充電には使用できないとのこと。

災害時における携帯電話の充電は、別途、ソーラー発電機を用意するとのことでした。



次に防災井戸の使用の確認を行いました。

栓をひねると冷たい水がジャージャーと出て来てきました。防災井戸については、毎月、水質検査を実施しており、担当者の話では、「中志津の井戸水は水質が良い」とのことでした。

なお、この井戸水はマンホールトイレの洗浄水としても使用されると説明がありました。



防災井戸



蛇口

防災備蓄倉庫と防災井戸の確認が終了し、正門前まで移動してマンホールトイレの設置訓練に移りました。この場所は日影がなく、気温34℃の中で水分補給をしながらの見学でした。マンホールトイレは外枠がアルミニウムでできており、想像していたものより軽くてキレイな建物でした。マンホールは全部で6個あり、そのうち、1つは水をためるためのタンクで、残りの5個がトイレとして使用するとのことでした。佐倉市職員の皆さんが汗だくになりながら1台の設置が終了した時点で解散となりました。

猛暑の中での見学会でしたが、色々と貴重なことを知ることができ有意義な見学会でした。



マンホール



マンホールトイレ  
(外観)



マンホールトイレ  
(内部)